

学年	3年生	Stage	Stage I	コード	L3403	単位	3.3
モジュール名	薬理学			科目担当責任者	高橋 俊介		
モジュール名(英字)	Pharmacology			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標(GIO)	生体の生理学的機能を基盤として、薬物の生体に対する作用を理解し、様々な症状/疾患に対する薬物療法の基本的指針を立てる能力を身につける。さらに、演習形式の動物実習を通じてこれまで学んだ知識を実際の薬物の生体作用に関係づけ、臨床に適宜応用する能力を身につける。						
ユニット:一般目標	1. 薬理作用 薬物療法の意義、薬理作用の基本様式と、薬理作用を規定する因子を理解する。中枢神経、末梢神経、循環器系に作用する薬物について理解することを目的とする。抗炎症薬、化学療法薬、歯科専用薬について理解することを目的とする。 2. 薬物の適用と薬物動態 薬物の吸収に関わる因子や適用上の注意について理解することを目的とする。 3. 薬物と医薬品 薬物と医薬品の違いとその法的区分、そして両者の取り扱いを理解する。 4. 歯科薬理学全般 歯科薬理学総論について理解を深めることを目的とする。 5. 薬理学実習 動物実験の映像、およびシミュレーション結果を通じて、実際の薬物の作用や作用機序、また拮抗薬の作用機序について理解することを目的とする。						

### 教育目標

ディプロマポリシー	DPI-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP3
	a / - / a	- / a / -	a / - / -		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ 解る！歯科薬理学 第3版/ 高橋俊介, 吉野文彦 他/ 学建書院  
 参 1/ 現代歯科薬理学 第7版/ 監修: 鈴木邦明, 編: 戸辺彰史・青木和広・兼松隆・筑波隆幸・八田光世/ 医歯薬出版  
 参 2/ ポイントがよくわかる シンプル歯科薬理学 第3版/ 監修: 大浦 清, 戸辺彰史/ 永末書店  
 参 3/ 薬がみえる vol.2/ 医療情報科学研究所(編)/ メディックメディア  
 参 4/ 目で見る薬理学入門 第3版 vol.7 炎症と免疫性疾患の治療薬/ 川合 真一/ 医学映像教育センター  
 参 5/ オンライン講義LMSにおける配布資料/ 高橋俊介, 吉野文彦 他/ 神奈川歯科大学  
 HP 1/ 歯科薬理学実習書/ 吉田彩佳 他/ 神奈川歯科大学オンライン講義用LMS該当科目コース

### 評価方法

出 欠 席	「2026年度神奈川歯科大学履修ガイド」に準じます。 1. 講義開始時刻の着席を厳守すること。遅刻の扱いはなく、すべて「欠席」として処理します。 2. 出席率が70%未満となった場合、アクティビティ再評価(救済課題等)は一切行いません。 3. 欠席がある講義は補完講義を受講すること。 4. 実習の補完は実習レポートの提出により完了(出席扱い)としますが、レポート、態度およびプロセス評価は0点となります(詳細はアクティビティ欄参照)。						
モジュール試験(%)	60	1. 記述式を含む総合試験を行い、全講義・実習内容から出題します。 2. 出席率70%未満の者は、本試験の結果に関わらず評価対象外(GP 0.0)となります。					
アクティビティ(%)	40	1. 事前試験は、教科書、配布資料の持ち込み可とし、オンラインLMSによる客観形式で行う。事前試験は総得点率の5%をアクティビティ評価とする。 2. 各講義終了後に行う確認試験は、教科書、配布資料の持ち込み可とし、オンラインLMSによる客観形式で行う。確認試験は総得点率の5%をアクティビティ評価とする。 3. 中間試験(前半・後半)は、教科書、配布資料の持ち込み可とし、客観形式で行う。中間試験、前半・後半は各総得点率の5%とし、計10%をアクティビティ評価とする。 4. 実習レポートは各自PDF形式でオンラインLMSで提出し、レポート評価(10%)、態度、その他の評価を各5%とし総合的に評価する。 5. 講義内試験(事前・確認)、中間試験(前半・後半)、実習評価の積み重ねを総合的に評価します。 ●評価が0%になるケース等注意書き (1) 講義内試験・中間試験(前半・後半)の欠席および期限外提出は0点とします(正当な理由がある場合を除く)。 (2) 実習を欠席した場合、レポートの提出をもって補完(出席扱い)としますが、当該レポートは採点対象外(0点)となります。 また、その回の「態度評価」および「その他(プロセス)」評価も0点となります。 (3) 実習の補完レポートが未提出の場合は、実習評価全て(レポート含む)を0点とし、かつ「欠席」として扱います。					
アクティビティ詳細 (%)		事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
		5 / 0 / 0 / 0 / 0	0 / 0 / 0 / 0 / 0	0 / 0 / 0 / 0 / 10	0 / 0 / 0 / 0 / 0	0 / 0 / 0 / 0 / 5	0 / 5 / 5 / 5 / 5
再試験の評価方法	1. アクティビティ評価をそのまま引き継ぎ、モジュール再試験との総合評価(比率はモジュール本試験の場合と同様)を行う。 2. 最終評価は、「最終評価(上限80点)=再試験得点(上限80点)×0.6+アクティビティ再評価(上限80点)×0.4」で行います。 3. 出席率不足等で「アクティビティ再評価」が行われない場合、持ち点のまま計算されるので、再試験で満点を取っても、合格基準に達しない場合もあります。 4. 再試験受験のための追加課題(アクティビティ点の救済)は一切行いません。						
フィードバックについて	モジュール試験後、所定の期間にLMSにてフィードバック講義(オンデマンド配信の視聴を含む)を行います。 学生は各自、フィードバック講義および不得意項目の講義動画を確認し、同項目の事前・確認試験を演習し、自学自習にて苦手項目を克服すること。さらに理解が及ばなければ、教員に質問し理解を深めること。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403.001.4/7.1限	2026/04/07	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理学総論					
サブユニット	事前試験 薬理学の概念 薬物療法の目的 薬物の適用方法					
授業目標	1) 薬理学の概念を学ぶ 2) 薬物療法を説明できる 3) 薬物適用経路を説明できる 4) 薬理作用の基本形式と分類が説明できる					
キーワード	興奮作用, 抑制作用, 主作用, 副作用, 全身作用, 局所作用, 薬力学, 薬物動態学, 原因療法, 補充療法, 対症療法, 予防療法, 経口投与, 注射適用, 直腸内適用					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 1~8 薬理作用の基本形式と分類をよく理解しておくこと 事後学修, 講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので, PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403.002.4/7.2限	2026/04/07	2		講義	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態					
サブユニット	薬物の適用方法 薬物動態					
授業目標	1) 適用方法の利点, 欠点を説明できる 2) 薬物の吸収機構を説明できる 3) 生体内分布を説明できる					
キーワード	経口投与, 静脈内投与, 動脈内投与, 皮下注射, 直腸内適用, 血中濃度, 初回通過効果, バイオアベイラビリティ, 受動輸送, 膜透過, 解離, 非解離, 脂溶性, 分布, 血漿タンパク, アルブミン					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 9~14 事後学修, 講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので, PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403.003.4/7.3限	2026/04/07	3		講義	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態					
サブユニット	薬物の適用方法 薬物動態					
授業目標	1) 適用方法の利点, 欠点を説明できる 2) 薬物の吸収機構を説明できる 3) 生体内分布を説明できる					
キーワード	経口投与, 静脈内投与, 動脈内投与, 皮下注射, 直腸内適用, 血中濃度, 初回通過効果, バイオアベイラビリティ, 受動輸送, 膜透過, 解離, 非解離, 脂溶性, 分布, 血漿タンパク, アルブミン					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 9~14 事後学修, 講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので, PC等のデバイスを持参してください。					

コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_004_4/7_4限	2026/04/07	4		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット	確認試験					
授業目標						
キーワード						
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	教1 p 1~14 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_005_4/9_1限	2026/04/09	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態					
サブユニット	事前試験 薬物動態					
授業目標	1) 生体内分布を説明できる 2) 薬物の代謝機構を説明できる					
キーワード	分布, 血漿タンパク, アルブミン, 第1相, シトクロムP-450, 第2相, 抱合					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 12~15 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_006_4/9_2限	2026/04/09	2		講義	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態					
サブユニット	薬物動態					
授業目標	1) 生体内分布を説明できる 2) 薬物の代謝機構を説明できる					
キーワード	血中濃度, 初回通過効果, パイオアベイラビリティ, 受動輸送, 解離, 非解離, 脂溶性、分布, 血漿タンパク, アルブミン, 第1相, シトクロムP-450, 第2相, 抱合					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 12~15 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_007.4/9_3限	2026/04/09	3		講義	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態					
サブユニット	薬物動態					
授業目標	1) 薬物の代謝機構を説明できる 2) 排泄機構を説明できる					
キーワード	受動輸送, 解離, 非解離, 脂溶性, 分布, 血漿タンパク, アルブミン, 第1相, シトクロムP-450, 第2相, 抱合, 腎排泄, 胆汁, 薬物クリアランス, 生物学的半減期					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 15~20 薬物動態についてよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_008.4/9_4限	2026/04/09	4		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット	確認試験					
授業目標						
キーワード						
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	教1 p 12~21 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_009.4/14_1限	2026/04/14	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態					
サブユニット	事前試験 薬物の効果					
授業目標	1) 薬理作用を規定する要因を説明できる					
キーワード	プラセボ効果, 協力作用, 拮抗作用, 相互作用, 競合的拮抗, 非競合的拮抗, 酵素誘導					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 22~29 薬物の効果に関わる因子をよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_010.4/14_2限	2026/04/14	2		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態, 確認試験					

サブユニット	薬物の効果
授業目標	2) 薬物の併用を説明できる
キーワード	プラセボ効果, 協力作用, 拮抗作用, 相互作用, 競合的拮抗, 非競合的拮抗, 酵素誘導
担当	高橋 俊介
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 22~29 薬物の効果に関わる因子をよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_011_4/14_3限	2026/04/14	3		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 薬物の用量					
授業目標	1) 用量-反応曲線が説明できる。 2) 安全域, 有効量, 中毒量, 致死量が説明できる。					
キーワード	用量-反応曲線, リガンド, 有効量, 中毒量, 致死量, 安全域, 治療薬物モニタリング(TDM)					
担当	高橋 聡子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 39~42 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_012_4/14_4限	2026/04/14	4		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット	確認試験					
授業目標						
キーワード						
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	教1 p 22~29, p 39~42 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_013_4/16_1限	2026/04/16	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 受容体 薬物の反復投与					

授業目標	1) 受容体を介した薬物の作用機序を説明できる 2) 受容体を介さない薬物の作用機序を説明できる 3) 耐性を説明できる 4) 脱感作, 依存を説明できる
キーワード	受容体, Gタンパク質, イオンチャネル, 耐性, 酵素誘導, タキフィラキシー, 精神的依存, 身体的依存, 麻薬
担当	高橋 俊介
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 30~38, p 43~45 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_014_4/16_2限	2026/04/16	2		講義	33番教室	60
ユニット	薬物と医薬品					
サブユニット	薬物の管理					
授業目標	1) 医薬品医療機器等法(改正薬事法)と日本薬局方について説明できる 2) 医薬品の管理について説明できる					
キーワード	医薬品医療機器等法(改正薬事法), 日本薬局方, 毒薬, 劇薬, 医薬品, 医薬部外品, 化粧品, 医療機器					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 53~58 薬物の管理についてよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_015_4/16_3限	2026/04/16	3		講義	33番教室	60
ユニット	薬物の適用と薬物動態					
サブユニット	事前試験 薬物適用上の注意 副作用・有害作用					
授業目標	物適用上の注意 副作用・有害作用 1) 薬の禁忌について説明できる 2) 小児・妊婦・高齢者への投薬時の注意について説明できる 3) 薬物投与と病態との関連について説明できる 4) 服薬指導について説明できる 5) 副作用と有害作用を説明できる 6) 歯科領域で頻用される薬の副作用について説明できる 7) 副作用の予防, 対策について説明できる					
キーワード	禁忌, 原則禁忌, 併用禁忌, 併用注意, Youngの式, Clarkの式, Crawfordの式, 催奇形性, コンプライアンス, ポリファーマシー, 個別化医療, 主作用, 副作用					
担当	高橋 聡子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p18~21, p 46~52 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_016_4/16_4限	2026/04/16	4		講義(演習)	33番教室	60

ユニット	確認試験
サブユニット	確認試験
授業目標	
キーワード	
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦
学修範囲(事前事後学修)	教1 p18~21, p 30~38, p 43~52, p 53~58 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_017_4/21_1限	2026/04/21	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 末梢神経作用薬					
授業目標	1) 末梢神経系 2) 末梢神経の生理的機能 3) コリン作動性神経に作用する薬物を説明できる					
キーワード	交感神経, 副交感神経, 拮抗的二重支配, 節前線維, 節後線維, $\alpha$ 受容体, $\beta$ 受容体, ムスカリン受容体, ニコチン受容体					
担当	吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 67~91 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_018_4/21_2限	2026/04/21	2		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	末梢神経作用薬					
授業目標	1) アドレナリン作動性神経に作用する薬物を説明できる					
キーワード	交感神経, 副交感神経, 拮抗的二重支配, 節前線維, 節後線維, $\alpha$ 受容体, $\beta$ 受容体, ムスカリン受容体, ニコチン受容体					
担当	吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 67~91 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-イ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_019_4/21_3限	2026/04/21	3		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット	確認試験					
授業目標						
キーワード						
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					

学修範囲(事前事後学修)	教1 p 67~91 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-イ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_020.4/21_4限	2026/04/21	4		実習(演習)	33番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					
サブユニット	動物実験教育訓練					
授業目標	1) 動物実験の関連法規, 指針を説明できる 2) 動物実験等の方法に関する基本事項を理解できる 3) 動物実験の飼養・保管に関する事項、および安全管理に関する事項を理解できる。					
キーワード	動物実験, 生命倫理, 研究倫理, ガイドライン					
担当	高橋 俊介,北濱 誉,高橋 聡子,田賀 龍生,遠山 歳三,萩原 鉄也,秦 光潤,前谷 崇志,前畑 洋次郎,宮崎 裕之,宮本 千央,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事後学修 実習内容および日本実験動物学会編集のe-learning 教材「動物実験の実践倫理 <a href="http://www.jalas.jp/gakkai/edu_training.html">http://www.jalas.jp/gakkai/edu_training.html</a> 」					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修1-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_021.4/23_1限	2026/04/23	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 中枢神経系の生理機能					
授業目標	1) 中枢神経系 2) 統合作用 3) 中枢神経系の機能的分類を説明できる					
キーワード	大脳, 小脳, 脳幹, 脊髄					
担当	宮本 千央					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 93~94 中枢神経系についてよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_022.4/23_2限	2026/04/23	2		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	中枢抑制薬 向精神薬 運動異常治療薬 中枢興奮薬					
授業目標	1) 中枢抑制薬を説明できる 2) 向精神薬を説明できる 3) 運動異常治療薬を説明できる 4) 中枢興奮薬を説明できる					
キーワード	全身麻酔薬, 催眠薬, 抗不安薬, 麻薬性鎮痛薬, 抗精神病薬, 抗うつ薬, 抗そう薬, 抗てんかん薬, 中枢性筋弛緩薬, 抗パーキンソン病薬, 中枢興奮薬					
担当	宮本 千央					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 94~114 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					



L3403_025_4/28_1限	2026/04/28	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 循環器に作用する薬物 血液・造血器に作用する薬物					
授業目標	1) 循環器系の解剖と生理について説明できる 2) 循環器系に作用する薬物の分類を説明できる 3) 血液・造血器に作用する薬物を説明できる					
キーワード	強心薬, 抗不整脈薬, 狭心症治療薬, 動脈硬化防止薬, 止血薬, 抗血栓薬, 造血薬					
担当	高橋 聡子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 115~p138 循環調節機構についてよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_026_4/28_2限	2026/04/28	2		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 循環器に作用する薬物 血液・造血器に作用する薬物					
授業目標	1) 循環器系の解剖と生理について説明できる 2) 循環器系に作用する薬物の分類を説明できる 3) 血液・造血器に作用する薬物を説明できる					
キーワード	強心薬, 抗不整脈薬, 狭心症治療薬, 動脈硬化防止薬, 止血薬, 抗血栓薬, 造血薬					
担当	高橋 聡子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 115~p138 循環調節機構についてよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_027_4/28_3限	2026/04/28	3		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット	確認試験					
授業目標						
キーワード						
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	教1 p 115~138 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_028_4/28_4限	2026/04/28	4		実習(演習)	33番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					

サブユニット	薬物の吸収
授業目標	1) 薬物の吸収に影響をあたえる因子を説明できる
キーワード	腸管, pH, 酸性薬物, 塩基性薬物, ヘンダーソンハッセルバルチの式, 解離定数
担当	高橋 俊介, 高橋 聡子, 吉田 彩佳, 吉野 文彦
学修範囲(事前事後学修)	HP1 歯科薬理学実習書
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1, A-6-1-2, A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-2-3, A-6-2-4, A-6-2-5, A-6-3-1, A-6-3-2, A-6-3-3, A-6-4-1, A-6-4-2, A-6-4-3, A-6-4-4, A-6-4-5, A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-b, 総論VII-8-ア-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_029_4/30_1限	2026/04/30	1		講義(演習)講義, オンライン講義用LMSによる問題演習、自学自習	33番教室	60
ユニット	薬理学総論薬物の適用と薬物動態薬理作用薬物と医薬品					
サブユニット	振り返り学習					
授業目標	不得意個所を明らかにし理解する。					
キーワード	薬理学総論 薬物の適用と薬物動態 薬理作用 薬物と医薬品					
担当	高橋 俊介, 高橋 聡子, 吉田 彩佳, 吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	「薬理学」の配付資料					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1, A-6-1-2, A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-2-3, A-6-2-4, A-6-2-5, A-6-3-1, A-6-3-2, A-6-3-3, A-6-4-1, A-6-4-2, A-6-4-3, A-6-4-4, A-6-4-5, A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a, 必修11-コ-b, 必修11-コ-c, 総論VII-8-ア-a, 総論VII-8-ア-b, 総論VII-8-ア-c, 総論VII-8-イ-a, 総論VII-8-イ-b, 総論VII-8-イ-c, 総論VII-8-イ-d, 総論VII-8-イ-e, 総論VII-8-ウ-a, 総論VII-8-ウ-b, 総論VII-8-ウ-c, 総論VII-8-ウ-d, 総論VII-8-ウ-e, 総論VII-8-ウ-f, 総論VII-8-ウ-g, 総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_030_4/30_2限	2026/04/30	2		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	薬理学総論薬物の適用と薬物動態薬理作用薬物と医薬品					
サブユニット	中間試験					
授業目標						
キーワード	薬理学総論 薬物の適用と薬物動態 薬理作用 薬物と医薬品					
担当	高橋 俊介, 高橋 聡子, 吉田 彩佳, 吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	「薬理学」の配付資料					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1, A-6-1-2, A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-2-3, A-6-2-4, A-6-2-5, A-6-3-1, A-6-3-2, A-6-3-3, A-6-4-1, A-6-4-2, A-6-4-3, A-6-4-4, A-6-4-5, A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a, 必修11-コ-b, 必修11-コ-c, 総論VII-8-ア-a, 総論VII-8-ア-b, 総論VII-8-ア-c, 総論VII-8-イ-a, 総論VII-8-イ-b, 総論VII-8-イ-c, 総論VII-8-イ-d, 総論VII-8-イ-e, 総論VII-8-ウ-a, 総論VII-8-ウ-b, 総論VII-8-ウ-c, 総論VII-8-ウ-d, 総論VII-8-ウ-e, 総論VII-8-ウ-f, 総論VII-8-ウ-g, 総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_031_4/30_3限	2026/04/30	3		実習(演習)	33番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					
サブユニット	中枢神経作用薬					
授業目標	1) 中枢興奮薬 2) 実験動物を用いて中枢興奮薬の作用部位と作用機序をを確認し理解できる					
キーワード	強直性痙攣, 間代性痙攣, 拳尾反応, シナプス前抑制, シナプス後抑制, GABA, グリシン					
担当	高橋 俊介, 北濱 蒼, 高橋 聡子, 田賀 龍生, 遠山 歳三, 萩原 鉄也, 秦 光潤, 前畑 洋次郎, 宮崎 裕之, 宮本 千央, 吉田 彩佳, 吉野 文彦					

学修範囲(事前事後学修)	HP1 歯科薬理学実習書 事前学修範囲 教1 p 93~114 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_032_4/30_4限	2026/04/30	4		実習(演習)	33番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					
サブユニット	中枢神経作用薬					
授業目標	1) 中枢興奮薬 2) 実験動物を用いて中枢興奮薬の作用部位と作用機序をを確認し理解できる					
キーワード	強直性痙攣, 間代性痙攣, 拳尾反応, シナプス前抑制, シナプス後抑制, GABA, グリシン					
担当	高橋 俊介,北濱 誉,高橋 聡子,田賀 龍生,遠山 歳三,萩原 鉄也,秦 光潤,前畑 洋次郎,宮崎 裕之,宮本 千央,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	HP1 歯科薬理学実習書					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_033_5/7_1限	2026/05/07	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 化学療法薬					
授業目標	1) 化学療法薬を説明できる 2) ホルモン療法を説明できる 3) BRM療法を説明できる 4) 癌免疫療法を説明できる 5) 分子標的転移阻害薬を説明できる 6) 抗腫瘍薬の薬物間相互作用を説明できる 7) 抗腫瘍薬の副作用を説明できる					
キーワード	アルキル化薬, 代謝拮抗薬, 抗腫瘍性抗生物質, 微小管阻害薬, トポイソメラーゼ阻害薬, 白金化合物, 分子標的治療薬, ホルモン療法					
担当	前畑 洋次郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 233~246 細胞の増殖, 代謝過程をよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_034_5/7_2限	2026/05/07	2		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット	確認試験					
授業目標						
キーワード						
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,前畑 洋次郎,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	教1 p233~246 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					

コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_035_5/7_3限	2026/05/07	3		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	全身麻酔薬					
授業目標	1) 全身麻酔薬の臨床(基礎的知識)を説明できる					
キーワード	全身麻酔薬, 麻薬性鎮痛薬					
担当	北濱 誉					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 99~114 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_036_5/7_4限	2026/05/07	4		実習(演習)	33番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					
サブユニット	循環器に作用する薬物					
授業目標	1) 血圧と呼吸運動に作用する薬物の作用部位と作用機序, 拮抗薬を説明できる					
キーワード	心拍数, 呼吸数, 血圧, 受容体, 作用薬, 拮抗薬, 交感神経, 副交感神経					
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	HP1 歯科薬理学実習書					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_037_5/12_1限	2026/05/12	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 化学療法薬					
授業目標	1) 抗感染症薬の作用機序を説明できる 2) 耐性獲得の生化学的機構を説明できる 3) 抗感染症薬の併用効果・体内動態を説明できる					
キーワード	細胞壁合成阻害, 細胞膜合成阻害, 拡散合成阻害, タンパク質合成阻害, 葉酸合成阻害, プラスミド, MIC					
担当	吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 211~215 抗感染症薬の作用機序をよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L3403_038_5/12_2限	2026/05/12	2		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	化学療法薬					
授業目標	1) 各種抗感染症治療薬が説明できる					
キーワード	βラクタム, マクロライド, テトラサイクリン, アミノグリコシド, クロラムフェニコール, グリコペプチド, キノロン, サルファ, 抗真菌薬, 抗結核薬, 抗ウイルス薬					
担当	吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p211~231 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMSによる問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_039_5/12_3限	2026/05/12	3		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット	確認試験					
授業目標						
キーワード						
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,前畑 洋次郎,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	教1 p211~231					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_040_5/12_4限	2026/05/12	4		実習(演習)	33番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					
サブユニット	循環器に作用する薬物					
授業目標	1) 血圧と呼吸運動に作用する薬物の作用部位と作用機序, 拮抗薬を説明できる					
キーワード	心拍数, 呼吸数, 血圧, 受容体, 作用薬, 拮抗薬, 交感神経, 副交感神経					
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	HP1 歯科薬理学実習書					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_041_5/14_1限	2026/05/14	1		講義	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 抗炎症薬					
授業目標	1) 炎症の経過を説明できる 2) 炎症性メディエーターを説明できる 3) 炎症反応に寄与する細胞を説明できる 4) 非ステロイド性抗炎症薬					
キーワード	アラキドン酸, シクロオキシゲナーゼ, リボキシゲナーゼ, プラスタグランジン, ロイコトリエン, 喘息発作					
担当	吉田 彩佳					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 171~179, p 183~184 炎症のメカニズムをよく理解しておくこと 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_042.5/14.2限	2026/05/14	2		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	薬理作用・確認試験					
サブユニット	抗炎症薬 確認試験					
授業目標	1) ステロイド性抗炎症薬 2) 解熱性鎮痛薬 3) 塩基性抗炎症薬					
キーワード	ホスホリパーゼA2, 副作用, ビリン系, 解熱鎮痛薬, アスピリンショック					
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,前畑 洋次郎,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 180~183, p 184~190 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_043.5/14.3限	2026/05/14	3		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	事前試験 歯科専用薬					
授業目標	1) 歯内療法薬を説明できる 2) 歯周療法薬を説明できる					
キーワード	鎮痛薬, 覆髄剤, 知覚過敏症治療薬, 断髄薬, 失活薬, 根管清掃薬, 根管充填薬, 歯周ポケット内徐放薬,					
担当	吉田 彩佳					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 283~307 歯科専用薬の種類をよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。 確認試験 教1 p 275~307					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_044.5/14.4限	2026/05/14	4		講義(演習)	33番教室	60
ユニット	薬理作用・確認試験					
サブユニット	歯科専用薬 確認試験					
授業目標	3) 止血薬を説明をできる 4) う蝕予防薬を説明できる					
キーワード	齶窩消毒薬, 鎮痛薬, 覆髄剤, 知覚過敏症治療薬, 断髄薬, 失活薬, 根管清掃薬, 根管充填薬, 歯周ポケット内徐放薬, 止血薬, フッ化物					
担当	吉田 彩佳					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 p 283~307 歯科専用薬の種類をよく理解しておくこと 事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。 確認試験 教1 p 275~307
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_045.5/20_1限	2026/05/20	1		実習(演習)	11番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					
サブユニット	末梢神経作用薬					
授業目標	1) 末梢神経に作用する薬物の作用部位と作用機序, 拮抗薬を説明できる					
キーワード	心拍数, 心拍出量, 受容体, ランゲンドルフ, 強心配糖体, 自動能					
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,前畑 洋次郎,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	HP1 歯科薬理学実習書					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_046.5/20_2限	2026/05/20	2		実習(演習)	11番教室	60
ユニット	歯科薬理学実習					
サブユニット	末梢神経作用薬					
授業目標	1) 末梢神経に作用する薬物の作用部位と作用機序, 拮抗薬を説明できる					
キーワード	心拍数, 心拍出量, 受容体, ランゲンドルフ, 強心配糖体, 自動能					
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,前畑 洋次郎,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	HP1 歯科薬理学実習書					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_047.5/20_3限	2026/05/20	3		講義(演習)講義, オンライン講義用LMS による問題演習、自学自習	11番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	中間試験(後半)					
授業目標						
キーワード	薬理作用, 中枢神経作用薬, 化学療法薬, 全身麻酔薬, 循環器に作用する薬物, 抗炎症薬, 生薬を含む歯科専用薬					
担当	高橋 俊介,高橋 聡子,吉田 彩佳,吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	「薬理学」の配付資料					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3403_048.5/20_4限	2026/05/20	4		講義	11番教室	60
ユニット	薬理作用					
サブユニット	歯科関連に使用される漢方薬 確認試験なし					
授業目標	1) 漢方薬を説明できる					
キーワード	漢方医学, 東洋医学, 西洋医学, 和漢薬					
担当	秦 光潤					
学修範囲(事前事後学修)	<p>事前学修範囲 教1 p 52, p 263, p 280~281</p> <p>事後学修、講義内容 ※オンライン講義用LMS による問題演習を実施するので、PC等のデバイスを持参してください。</p>					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h					